

「集中治療後症候群予防のための栄養療法」の研究利用についてのお知らせ

この度国立病院機構東京医療センター救急科では、「集中治療後症候群予防のための栄養療法」の研究を行うことになりました。

この研究の目的は、重症患者さんの栄養療法と集中治療後症候群発症の関連性を調査する研究です。

この研究のため、2020年1月1日より2021年3月末までに救命救急センターICUに入室し治療した方の診療録、検査データ、血液等の調査を行います。対象となるのは4A病棟に入院し人工呼吸管理をしていた20歳以上の重症患者さんで、調査項目は個人情報を含まない医学的な情報（例：病名、治療経過など）のみです。患者さんのお名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心下さい。

調査したデータは、本研究の責任者のもとで厳重に管理されます。また、今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがあります。

また、ご自身のデータを研究に利用することを承諾されない方は下記にご連絡下さい。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。

この件に関しましてご質問等がございましたらご遠慮なくお尋ね下さい。

2021年5月

研究責任者

東京医療センター 救急科

畠山 淳司

連絡先 03-3411-0111(代表)